

10,000人のボランティアと ともに15年。

災害ボラ・月イチ

夜間・自主講座 （V飯付き）

主催：とちぎボランティアネットワーク「災害ボランティアオールとちぎ」

■毎月第3水曜日 19:00～21:00

■①7/28, ②9/15, ③10/13, ④11/17, ⑤1/19, ⑥2/16

阪神・淡路大震災から現在まで

Vネットと共に活動した

ボランティアはのべ10,019人。

災害ボランティアセンター、ボランティアバス、

災害ボラのワークキャンプ方式など、

全国初の実績も多数の災害救援NGO[とちぎVネット]が贈る

ホンモノの災害V講座。

お仲間募集の機会です。夕飯(V飯⇒200円)食べながらのサロンです。



◆第1回 7/28 夜7時から・Vネット事務所で

総論「災害ボランティアの15年・

とちぎVネットの救援活動・成果と課題」

講師：矢野正広

◎災害時のボランティア活動とは（本質、広がりを探る） ◎ボランティアによる救援活動の効率を高めるには（効率とは何か＝「個別SOSの解決」か「大量・画一」か。NGO/NPOが組織化の主体。組織化の手法＝ボランティア・マネジメント） ◎災害復旧・復興の制度と援助の手法とは？（官と民の手法の違い、官と民の協働はどこが可能でどこが不可能か） ◎本会の過去の活動とともにふりかえります。

200円にぎって来れば 飯食える!!

●参加費用：V飯代200円+寄付（お気持ちで）

●来る人は事前に電話を。V飯の人数把握のため

電話 028-622-0021 へ

◆2回(9月15日)

【緊急救援】Vネットが生み出したもの・その①「災害ボランティアセンター」とその功罪

講師：津田博之(那須町社協)&矢野正広

- ・災害VCの意味、役割（なぜVCが必要だったのか）
- ・災害VCの普及とその課題(マニュアル=形式的普及による意味の不伝達)

(以下予定)

◆3回【緊急救援】救援ボランティアを組織する手法。

Vネットが生み出したもの・その②(ボラ・バス&災害ボラ・ワークキャンプ)

昨日まで他人だった一般公募のボランティアが協力して現地

で活動するワークキャンプ方式を阪神淡路大震災から実施してきた。そのグループワークやボランティア・コーディネーションについて。日本初のボランティア・バスの運行もとちぎVネットが実施。2ヶ月で1500人のボランティアを送り出す秘訣や資金調達、マスコミ戦略などの企画力も伝授。

◆4回【緊急救援】「被災地のニーズとは何か」

「一片付けてほしい」の背後にある本当の気持ちとは？

◆5回【今後の災害のために】「避難所・避難生活で何ができるか」。

◆6回【復興支援】「仕事と家をどう作る」

(他に検討中) ◆地域福祉と災害弱者 ◆水害VCのつくりかた演習 ◆ボランティア・プログラムの作り方 ◆救援活動の展開と資金調達 ◆復旧、復興制度とお金の課題 ◆東海地震 ◆宮城県沖地震 ◆茨城沖地震